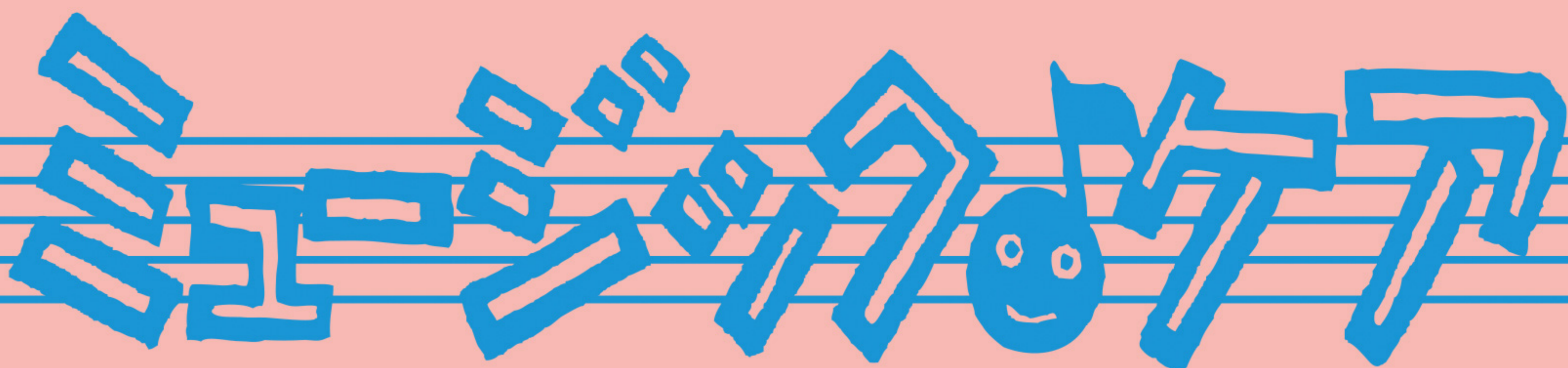


だれでも どこでも いつでも 楽しめる 音楽療法



第26回 全国セミナー [加賀]

日時【現地開催】2023年7月29日(土)~31日(月)

会場【現地開催】ホテルアローレ 石川県加賀市柴山町と5-1

【オンデマンド配信】2023年8月20日(日)~9月10日(日)

未来へ紡ぐ宝物
音楽とかがわりのハーモニー



主催
NPO法人 日本ミュージック・ケア協会

共催
加佐ノ岬倶楽部音楽療法研究所

後援(申請中)

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
公益財団法人 日本重症心身障害福祉協会
特定非営利活動法人 おもちゃの図書館全国連絡会
日本デイケア学会
公益社団法人 日本認知症グループホーム協会
石川県/加賀市
社会福祉法人石川県社会福祉協議会
社会福祉法人加賀市社会福祉協議会

感染対策のご協力をお願いいたします

団体所在地 及び 連絡先

NPO法人 日本ミュージック・ケア協会

〒922-0554 石川県加賀市橋立町ふ23 TEL / FAX 0761-75-2917

<http://www.music-care.net> E-mail info@music-care.net



日本ミュージック・ケア協会



未来へ紡ぐ宝物

音楽とかかわりのハーモニー

第26回 全国セミナー「加賀」

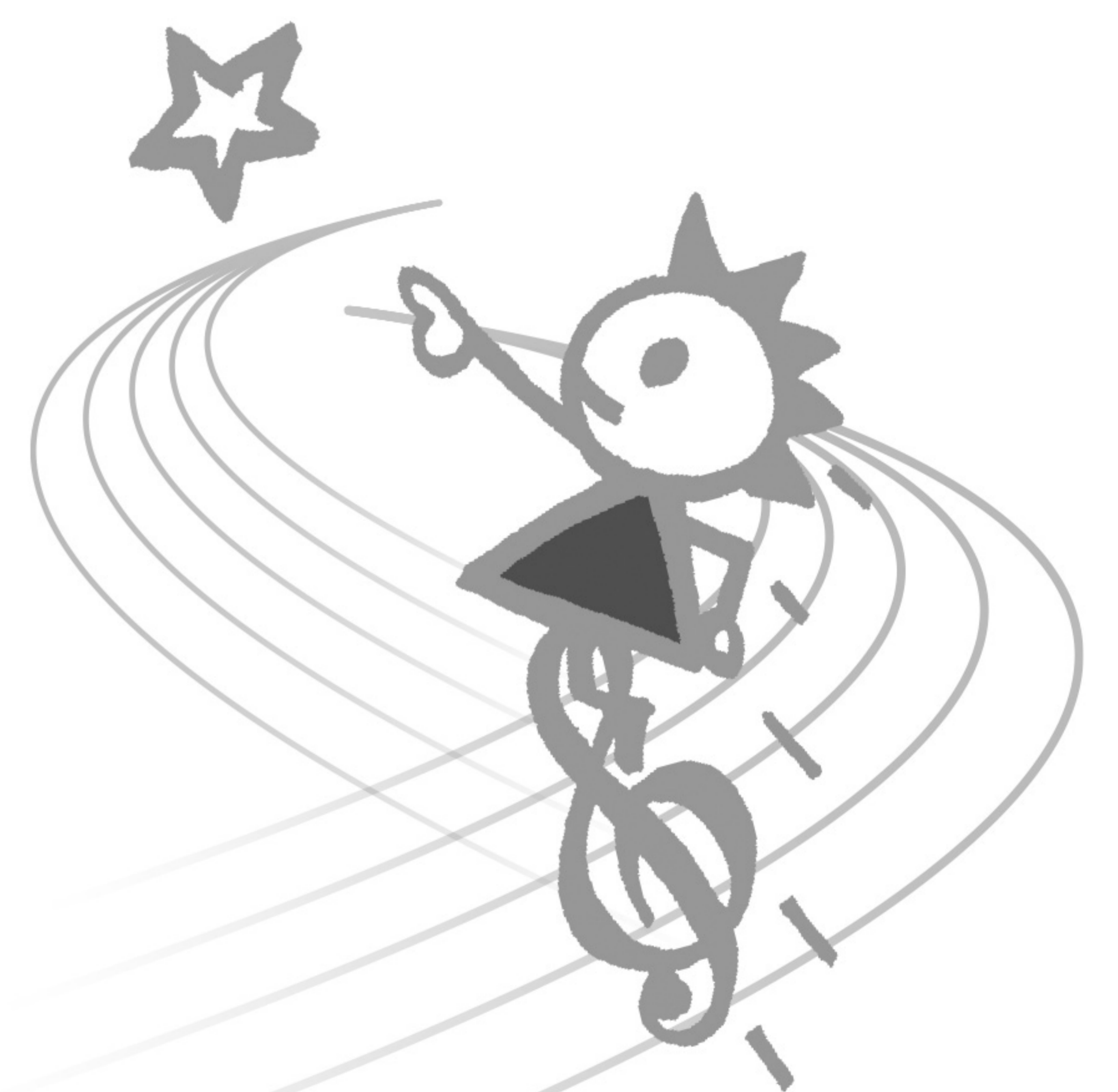
日時【現地開催】2023年7月29日(土)～31日(月)
会場【現地開催】ホテルアローレ 石川県加賀市柴山町と5-1
【オンデマンド配信】2023年8月20日(日)～9月10日(日)

大会長：松浦 千賀

日本ミュージック・ケア協会 副理事長、認定指導者

現地開催 1 日目 / 7/29(土)	現地開催 2 日目 / 7/30(日)	現地開催 3 日目 / 7/31(月)
9:00 受付	9:00 受付	9:00 受付
10:00 開会式	10:00 ★全体発表 研究発表 事例三題 コメンテーター 西島 千尋・宮本 啓子	10:00 ショッピング 4 高齢者編 吉田 茂樹 『高齢者の現場で求められるミュージック・ケアの役割』
11:00 ★ミュージック・ケア 理論/実技 『だれでも どこでも いつでも 楽しめる 音楽療法 ミュージック・ケア 理論・実技』 テーマ：宮本啓子のミュージック・ケア体験 宮本 啓子	11:00 ★講演 池永 康規 『治癒から人生を創造する医療へのパラダイムシフト ～音楽とかかわり人生を創造し続けよう～』	11:00 ★定期講演 佐藤 俊一 『権威と良心 ～疚しい心から生まれる疚しくない心』
12:00 昼食	12:00 昼食	12:00 昼食
13:00 ★大会長基調講演・コンサート 松浦 千賀 『届けましょう♪ 音の花束』 般若 佳子	13:00 ★ミュージック・ケア 理論/実技 宮本 啓子 『だれでも どこでも いつでも 楽しめる 音楽療法 ミュージック・ケア 理論・実技』	13:00 ★ミュージック・ケア たしかめあい ふかめあい 『だれでも どこでも いつでも 楽しめるミュージック・ケア』 ミュージック・ケア理論/実技/応用を楽しむ 宮本 啓子
14:00 ★講演 松木 健一 『心を整える仕組みについて考える』	14:00 ◎スペシャル講演『音楽と表現あそび』岡 洋子	14:00 閉会式
15:00	15:00	15:00
16:00 ショッピング 1 ダンス編 加藤 善之 『音楽と動きのハーモニー』	16:00 ワークショップ 2 医療編 下村 泰斗 『医療現場でのミュージック・ケアの意味』	
17:00	17:00 3 障がい者編 伊藤 美恵 『ミュージック・ケアを子ども達の育ちに役立てるためにできること』	
18:00 総会	18:00	
19:00	19:00	
20:00 新企画 I 『みつけた♪ ～こんな曲・こんな楽器 使えるかな～』	20:00 新企画 II MC-1グランプリ ミニワークショップ 『私が伝えたいミュージック・ケアの魅力』	
21:00	21:00	

●日程および内容は変更になる場合があります



オンライン開催 8/20(日)～9/10(日)
＜オンデマンド配信＞

興味関心を持っていただけましたら
ぜひオンライン開催にお申込みください。

◎研究発表 [ポスター発表] オンライン発表のみ
協会会員が実践活動の報告をポスター(PowerPoint)にて行う

オンライン開催について

- オンライン開催はオンデマンド配信のみです。
- 7月29日～31日に現地で開催されるプログラムを録画します。録画したものを編集してYouTube限定公開にてご視聴いただきます。
- 著作権の問題で配信できない楽曲については、削除または無音に編集して配信させていただきます。あらかじめご了承ください。
- オンライン開催にお申込みいただいた方には、日本ミュージック・ケア協会マイページからご視聴いただけます。配信期間内は、何度でも繰り返し視聴していただくことが可能です。

ミュージック・ケアは 相手の気持ちを受け止めること、 対人支援技術を磨くこと！

NPO法人日本ミュージック・ケア協会
理事長 宮本啓子

第26回日本ミュージック・ケア全国セミナーを対面式で開催できるようになりました。

新型コロナウイルスの感染拡大によって多くの難題に直面しましたが、どんな状況下でもミュージック・ケアは音楽を仲立ちとして、実践のためのスキルを工夫することも体験しました。反面、対面でのコミュニケーションが何よりも効果的であることも学びました。今年こそはと全国セミナーを対面で実施することを選びました。(オンラインでの参加も可)

ミュージック・ケアのオリジナル曲の一部は、作曲されて何十年もたっています。しかし、未だに色褪せず、多くの方々に喜んでもらっています。音楽の特性を利用して支援関係を形成することで効果は多方面に広がります。心のケア、発達支援、機能回復支援、言葉の誘発、認知機能支援などはもちろん、自閉症、発達障がいなどで落ち着かない子どもたちの情緒の安定、介護予防・認知症予防・フレイル予防など、多方面のアプローチができるようになりました。そこには奇跡のような結果も多く発表され、裏づけとなる理論も整理されてきました。

重症心身障がい児と言われている方々の身体が柔らかくなり、心と身体が動いてくるのが分かります。コロナ禍で、施設の中の認知症の方々の多くは、身も心も固まったままになっているようです。そんな方々が笑顔になり手や足が動きだします。歌声が聞こえてきました。同時に周りの職員の方々から称賛の声が沸き上がります。笑顔が広がっていくのです。

ミュージック・ケアは春一番の暖かい風のように伝わっていきます。不思議なことです。ミュージック・ケアのオリジナルメソッドと少しの歌唱曲と簡単なリズム楽器で心の中に暖かい風を送りこむことができるのです。

日本の音楽療法の先駆者である故加賀谷哲郎先生の映画の中に、「手をつなぎましょう」の曲が終わった瞬間、ピアノの前から立ち上がり、「ほらっ・うまい・うまい・うまい・うまい……」と拍手をしている場面が映っています。何回も見てきました。この笑顔・拍手・姿勢・声・タイミングのすべてを真似てください。画家になるには有名な油絵を模写するところから始まると言われています。ピアノやバイオリンの演奏家も素晴らしい演奏を聴くことから始まります。ミュージック・ケアも同じです。メソッドをしっかりと覚えるだけでなく、表現力やかかわり方全てを模倣するところから始まると思います。ただ単に形を覚えるだけでなく、気持ちを伝え、相手の気持ちを受け止めることができるようになることが大切なのです。

さあ！互いにケアされあう場、全国セミナーに多くの皆様の参加をお待ちしています。

現地開催

目次

7月29日(土)

開会式 9:45~10:00

ミュージック・ケア 理論/実技 10:00~12:30

『だれでも どこでも いつでも 楽しめる音楽療法 ミュージック・ケア 理論・実技』

テーマ: 宮本啓子のミュージック・ケア体験

宮本 啓子 日本ミュージック・ケア協会 理事長、一般社団法人日本音楽療法学会 理事、同認定音楽療法士、信越・北陸支部副支部長

1984年より加賀谷式集団音楽療法全国夏期セミナー実技・理論講師を務める。1996年に宮本啓子音楽療法研究所(現:加佐ノ岬倶楽部音楽療法研究所)を設立。1997年に日本ミュージック・ケア協会を設立。以降、毎年全国セミナーを開催。2000年より台湾にてミュージック・ケアの普及活動に務める。2007年より隔年ごとに台湾全国セミナーを開催。2004年10月と2006年2月、コロラド州立大学にて神経学的音楽療法を学ぶ。2021年第21回日本音楽療法学会学術大会にて大会長を務める。

大会長基調講演・コンサート 13:30~14:30

『届けましょう♪ 音の花束 ~ミュージック・ケアから学んだ大切なこと~』

松浦 千賀【ピアノ】 日本ミュージック・ケア協会 副理事長、同協会認定指導者、金沢大学附属特別支援学校非常勤講師

東京学芸大学在学中より音楽療法の研鑽を積み、加賀谷氏没後、宮本啓子氏に学ぶ。石川県立特別支援学校教諭として、小・中・高等部の児童生徒、病院内分教室、在宅の児童生徒とミュージック・ケアを実践し、重度の障がい児と親の会「こぐまの会」で25年以上継続して実践をしている。

ピアノを杉谷昭子氏他、声楽を島村泰子氏他に師事。ミュージック・ケア全国セミナーではワークショップ、ピアノ演奏を担当し、ミュージック・ケアCD(赤・青・黄・緑)では、ピアノ演奏・歌を担当し、おもいでのうたCDでピアノ演奏を担当した。

般若 佳子【ヴァイオリン】

広島県福山市出身。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部卒業、同年フランクフルト音楽・舞台芸術大学入学を機に渡欧。ブリュッセル王立音楽院編入、同時にictusensembleの公演に参加。以来、ヨーロッパを拠点に活動後2005年に帰国。

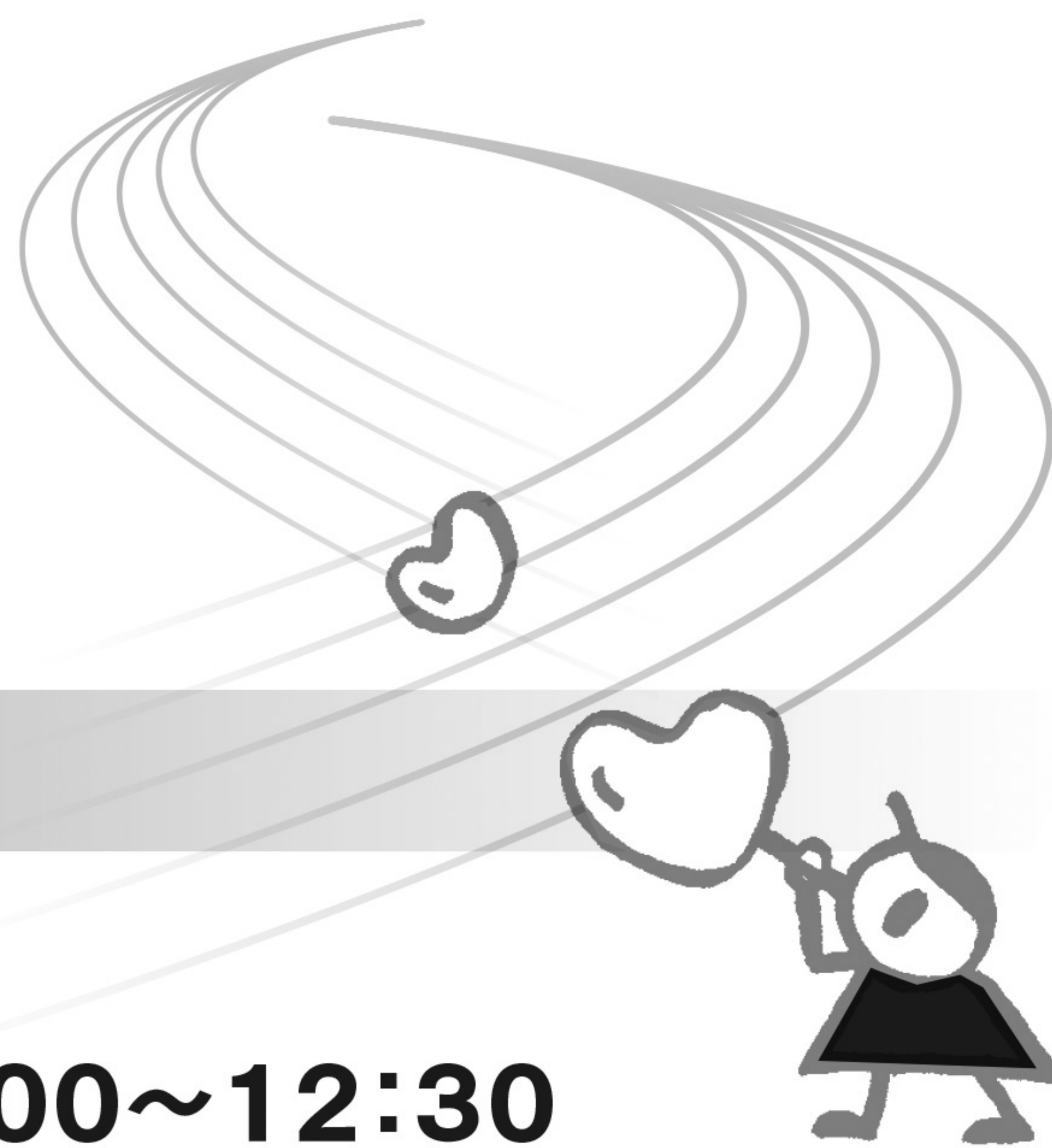
現在、金沢を拠点にクラシック~現代まで多岐に渡り演奏。広島市最優秀新人賞、シエナキジアーナディプロマ名誉賞受賞。2004年度文化庁在外派遣研修員。2020年度金沢市民芸術村レジデントアーティスト。

講演 14:45~16:15

『心を整える仕組みについて考える』

松木 健一 福井大学副学長(理事)

教育臨床の立場から教師の職能成長を支える仕組みづくりに奔走するかたわら、ミュージック・ケアの実践を読み解く活動を長年にわたって支援している。



ワークショップ 日本ミュージック・ケア協会 認定指導者

1 ダンス編

16:30~17:30

『音楽と動きのハーモニー』

加藤 善之 DANCE STUDIO DEEP 創設者

8年間勤務した施設職員時代に、ミュージック・ケアと出会い、宮本啓子氏に師事。特技とするダンスを通して、音楽の楽しさを伝えることや、ダンサーだからわかる体や動きのバランス、表現力、筋緊張からの解放などを伝えることに特化したセッションに取り組んでいる。



新企画 I

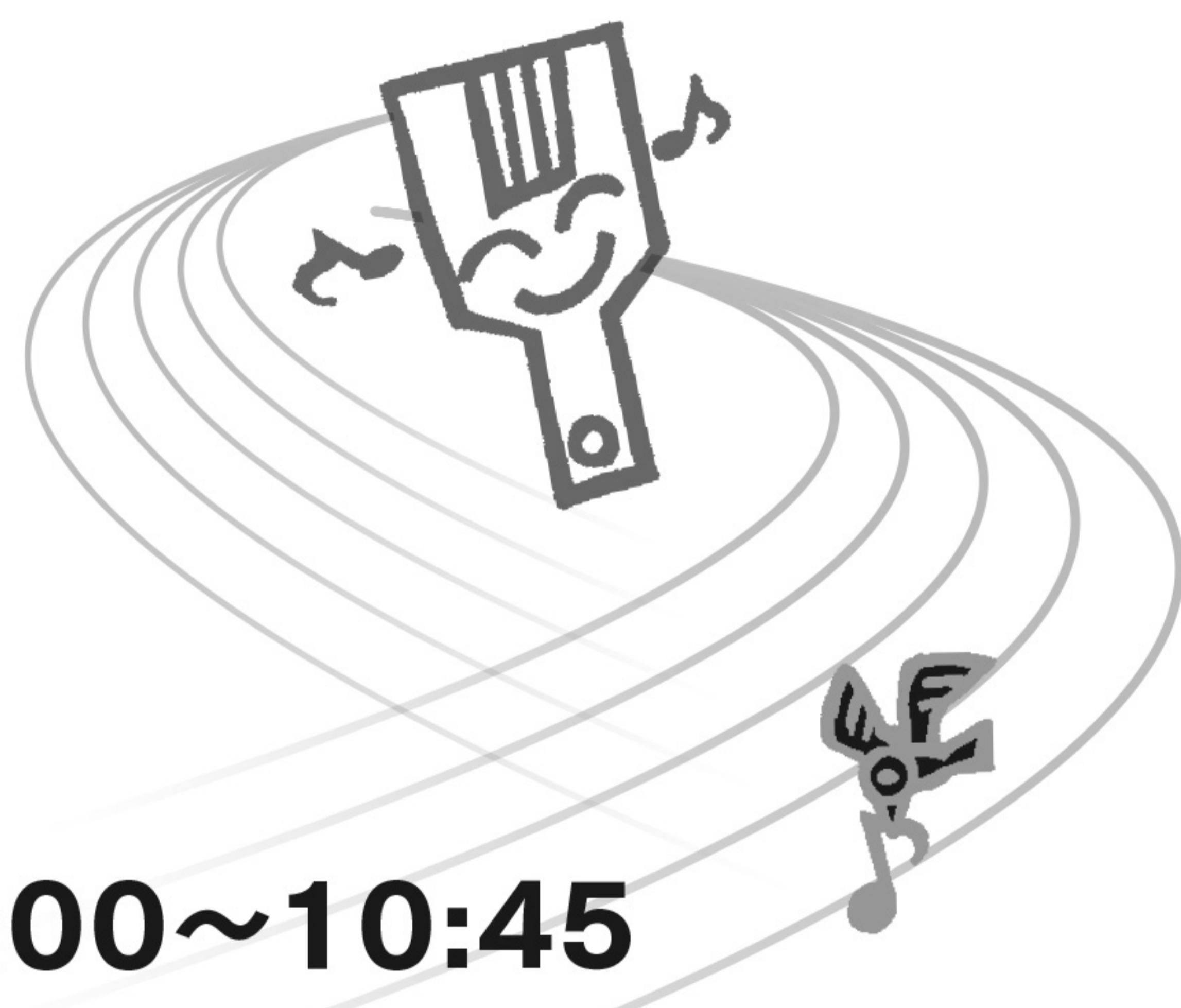
『みつけた♪ ~こんな曲・こんな楽器 使えるかな~』

19:30~21:00

現地開催

2 日目

7月30日(日)



全体発表

9:00~10:45

● 研究発表 事例三題発表

コメンテーター

西島 千尋 金沢大学人間社会研究域 講師

富山県生まれ。博士(学術)。2011年~2022年まで日本福祉大学勤務。2022年4月より金沢大学人間社会研究域講師。主著に『クラシック音楽は、なぜ〈鑑賞〉されるのか—近代日本と西洋音楽の受容』(新曜社、2010)、共著に『よくわかる音楽教育学』(ミネルヴァ書房、2023)、共訳に『ミュージッキング—音楽は〈行為〉である』(クリストファー・スモール著、水声社、2011)などがある。2021年に上梓された『音楽の未明からの思考—ミュージッキングを超えて』(アルテスパブリッシング、2021)ではフィールドワーク調査をもとに音楽療法についてまとめている。

宮本 啓子 日本ミュージック・ケア協会 理事長、一般社団法人日本音楽療法学会 理事、同認定音楽療法士、信越・北陸支部副支部長



講演

11:00~12:30

『治療から人生を創造する医療へのパラダイムシフト = 音楽とかかわり人生を創造し続けよう =』

池永 康規 特定医療法人社団勝木会やわたメディカルセンター 診療部部長/リハビリテーション科主任部長

金沢大学医学部大学院医学研究科卒業。西オーストラリア大学およびロイヤルパーズリハビリテーション病院留学。医師。医学博士。リハビリテーション専門医。指導医。2005年より特定医療法人社団勝木会やわたメディカルセンター勤務。2020年より現職。フルートを藤井ひろみ、M.ウェイン、ピアノを石富絵里の各氏に師事。石川県管楽器ソロコンテストにおいて金賞受賞。西オーストラリア大学留学中には、各地のスマールタウンにて演奏を行い、好評を博した。病院内において、クラシックから唱歌、歌謡曲まで幅広いレパートリーで演奏活動を続け、現在はやわたメディカルセンターにて「ハートフルコンサート」を定期開催している。

ミュージック・ケア理論／実技 ——— 13:30～15:30

『だれでも どこでも いつでも 楽しめる ミュージック・ケア 理論・実技』

テーマ：ミュージック・ケアの理論の裏付けを考える

宮本 啓子 日本ミュージック・ケア協会 理事長、一般社団法人日本音楽療法学会 理事、同認定音楽療法士、信越・北陸支部副支部長

◎ スペシャル講演

『音楽と表現あそび』

「音楽」で教育する …… というよりは、「音」を連れた“生活意識”といったものが生まれ育つように考えて曲作りをしました。実生活に結びつく、アクセント感、リズム感、運動感などの開発を目指しました。

岡 洋子 国学院大学人間開発学部初等教育学科教授

桐朋学園音楽部で作曲を専攻。文部省発行「小・中養護学校音楽教科書」及び「指導書」の編曲・編集・執筆を担当。「音楽と表現あそび」の作曲を担当。CDを出版。



ワークショップ 日本ミュージック・ケア協会 認定指導者

② 医療編

15:45～16:45

『医療現場でのミュージック・ケアの意味』

下村 泰斗 精神科医

4歳よりピアノをはじめ。ピアニスト、日本ミュージック・ケア協会認定指導者、日本音楽療法学会認定音楽療法士。小児科・救急医療の現場を経て、現在、精神科病院に勤務しながら、ミュージック・ケアの実践を続けている。



③ 障がい者編

17:00～18:00

『ミュージック・ケアを子ども達の育ちに役立てるためにできること』

～子育て支援や療育にミュージック・ケアを活用するためのポイント～

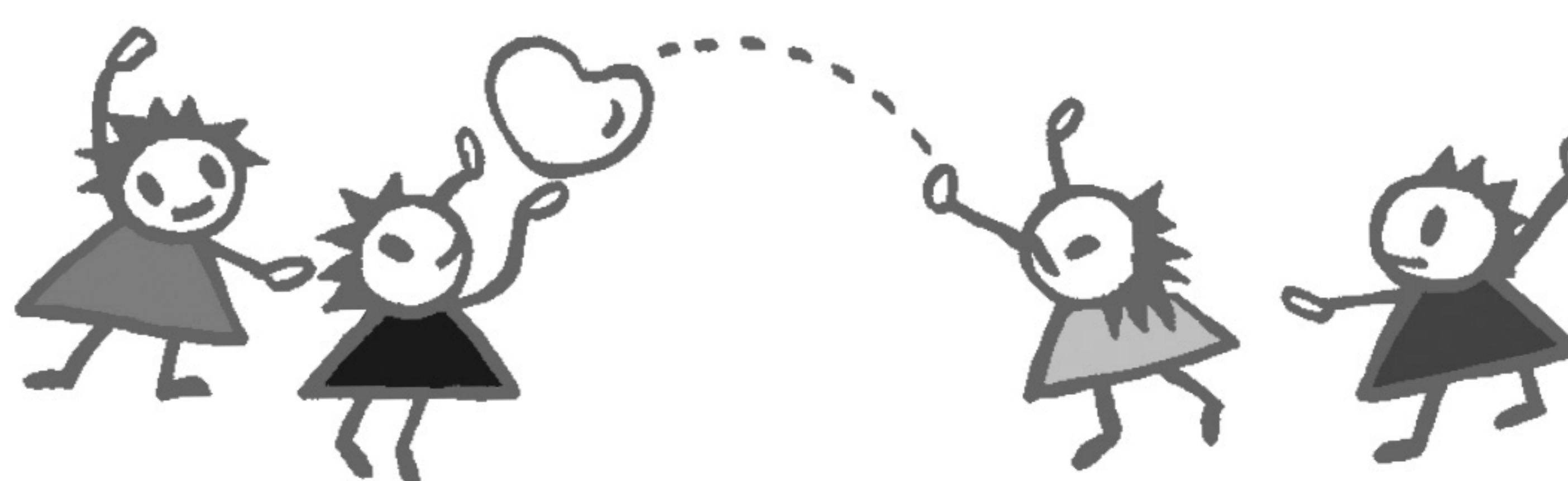
伊藤 美恵 NPO法人こらぼねっと京都理事長、京都文教短期大学・京都保育福祉専門学校非常勤講師
日本ミュージック・ケア協会 副理事長、同認定指導者、一般社団法人日本音楽療法学会 理事、同認定音楽療法士

障がいのある子どもの療育に携わって40年、現在は複数の障がい福祉サービスを提供する事業を運営している。また、複数の施設でミュージック・ケアのセッションや研修を継続的に行ったり、研修・講習会などの講師も多数行っている。

新企画 II MC-1グランプリ ミニワークショップ

19:15～21:15

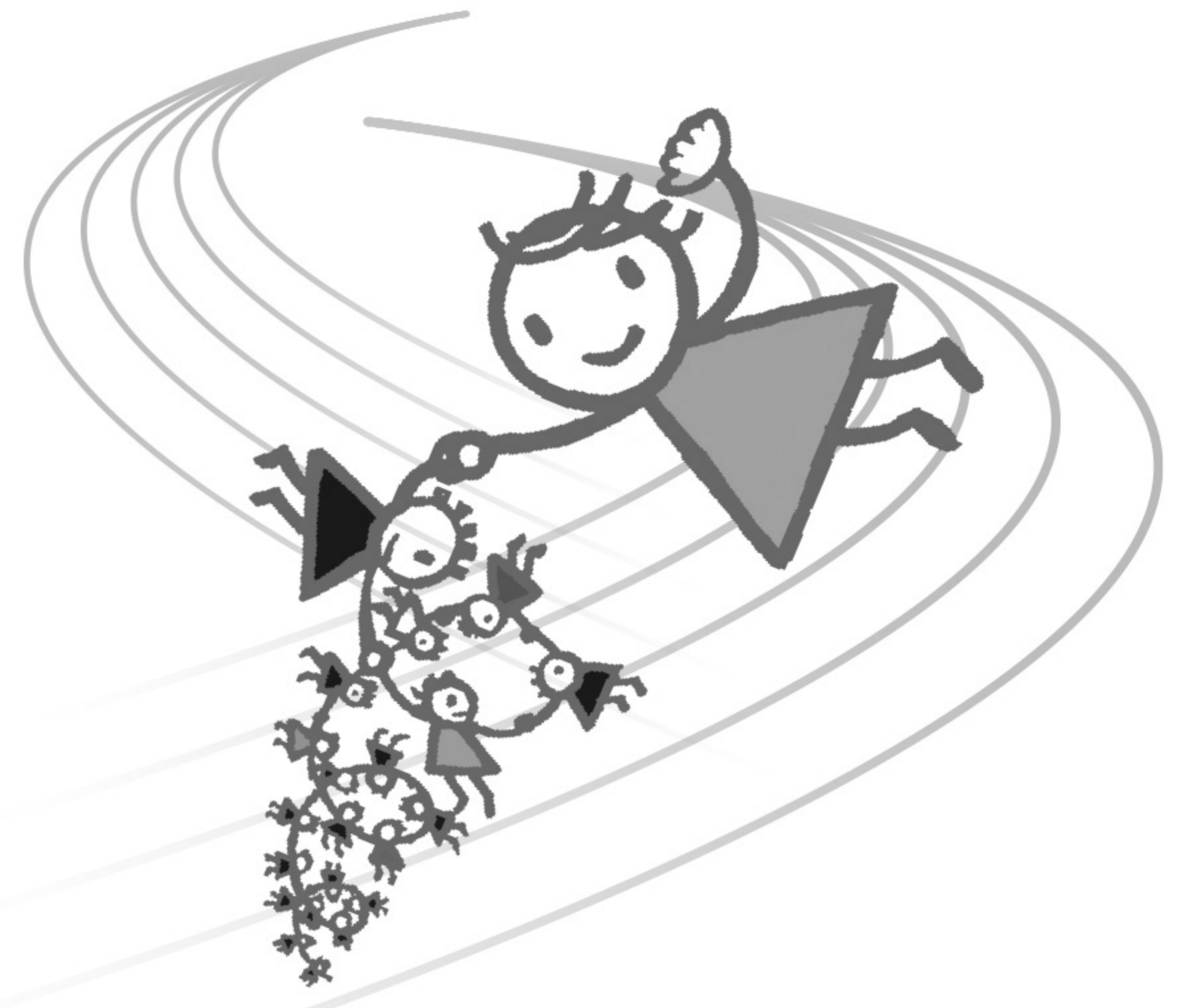
『私が伝えたいミュージック・ケアの魅力』



現地開催

3 日目

7月31日(月)



ワークショップ 日本ミュージック・ケア協会 認定指導者

4 高齢者編

9:00~10:00

『高齢者の現場で求められるミュージック・ケアの役割 ~ミュージック・ケアが対人援助技術として人材養成に役立つポイント~』

吉田 茂樹

社会福祉法人あさひ会 居宅介護支援事業所ファミリー 所長、
社会福祉士、主任介護支援専門員、准看護師、認知症キャラバンメイト、認知症地域推進員
日本音楽療法学会認定音楽療法士、同協会北陸信越支部教育委員、
日本ミュージック・ケア協会 理事及び事務局長

定期講演

10:15~11:45

『権威と良心 - 疚^{やま}しい心から生まれる疚^{やま}しくない心』

佐藤 俊一

NPO法人スピリチュアルケア研究会ちば 理事長、日本ソーシャルワーク学会 理事

約30年に亘って大学においてソーシャルワーカーを主として、対人支援職の「人にかかわる力」を身につける教育と研究に従事。現在は、退職して実践力を向上させるための研修として、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、看護職などの対人支援職のスーパービジョン、グループ臨床を行っている。その学問的な基盤は現象学であり、大切にしていることはスピリチュアリティ、目指すことは生の覚醒である。

組織や集団において、権威あるものに従って行動していると仕事はやりやすい。例えば、病院で働くソーシャルワーカーにとって、権威とは医師や上司があげられる。また、患者の退院先について決定権を持つ家族も該当する。権威あるものと良い関係を維持していけば、仕事は先に進めることができ、期日までに目標を達成することができる。

反対に、患者の希望とキーパーソンである家族の考えが異なり、患者の望む方向で支援を進めようとする、家族に対して疚^{やま}しい気持ちを抱くことになる。家族は絶対的な権威ではないのだが、やはり支援を行うのに波風が立つ。同時に、患者の希望を尊重しようとする、家族に対して罪悪感を抱いていることがわかる。

前記のような状況とは、私たちの良心が目覚めて洗練する機会である。対人にかかわる専門職にとっての倫理とは、倫理綱領に示されている行動規範にただ従っていればいいのではなく、一人ひとりの良心の問題であることがわかる。今回のセミナーでは、良心が問われることに応えることで、私たちは自分を生み出し使うことができるようになることを参加者と一緒に考え、具体的に取るようにしたい。

ミュージック・ケア たしかめあい ふかめあい - 12:45~14:45

『だれでも どこでも いつでも 楽しめる ミュージック・ケア』

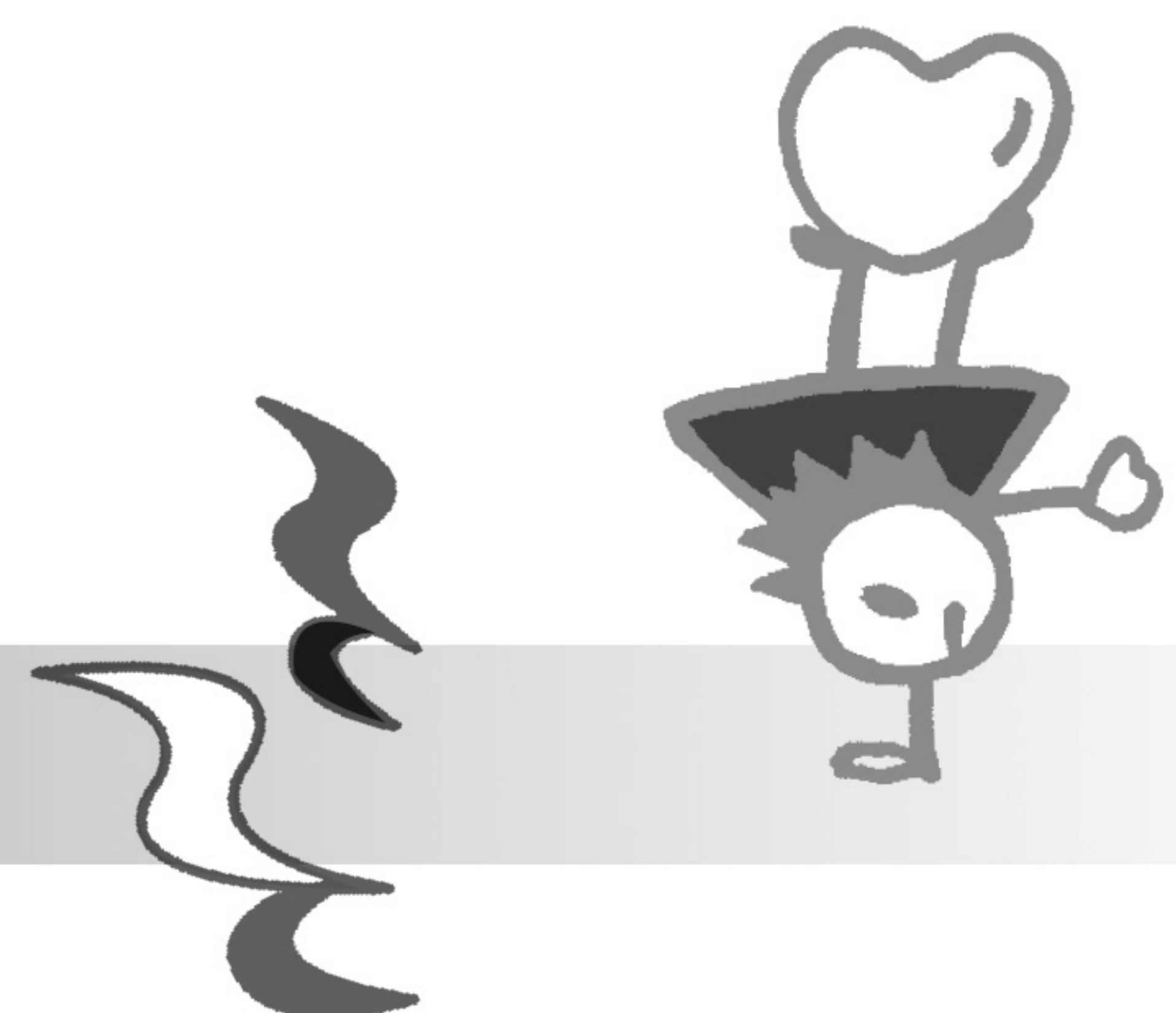
ミュージック・ケア理論 / 実技 / 応用を楽しむ

宮本 啓子

日本ミュージック・ケア協会 理事長

他、日本ミュージック・ケア協会 認定指導者

閉会式 14:45~15:00





だれでも どこでも いつでも 楽しめる 音楽療法



ミュージック・ケアとは

情緒の安定と発達、身体的機能の維持改善の為に必要な刺激や運動にあわせて、考案されたメソッドを使って行われる音楽療法の一つである。この方法は故加賀谷哲郎先生（日本音楽療法協会を設立・1983年没）が考案されたメソッドを基本に、その方法と理論を宮本啓子と日本ミュージック・ケア協会が体系化したものである

ミュージック・ケアの定義

音楽の特性の一部を利用して、その人がその人らしく生きるための援助をすることであり、子どもの場合はその子どもの持っている力を最大限に発揮させ、発達の援助を行うことである

ミュージック・ケアのねらい

音楽の特性を生かして、対象者の心身に快い刺激を与え、対人的な関係の質を向上させ、情緒の回復や安定を図る。さらに、運動感覚や知的機能の改善を促し、対象者の心身と生活に好ましい変化を与える

ミュージック・ケアの主な効果

関係性の発見と改善、コミュニケーション、情緒の安定、不安行動の軽減、自己コントロール、身体機能の促進、発達の促進、リラクゼーション、生きがい、集団参加の促進、注意集中力、リハビリ、介護予防

あなたも実践できます！ [参加対象者]

- 老人保健施設、特別養護老人ホーム、デイサービス等の老人福祉施設職員
- 知的障がい・自閉症・言語障がい・脳性マヒ等の児童・成人福祉施設職員
- 特別支援学校教員、特殊教育教員、幼稚園教諭、保育士等の教育関係職員
- 理学療法士、作業療法士、医師、看護師、保健師等の医療関係職員
- 音楽指導者、音楽療法士等の音楽関係者
- その他、ミュージック・ケアに興味のある方(本人、家族、ボランティア活動希望等)

参加申し込みは ホームページ（下記QRコード）よりお願いいたします

- ホームページから参加申込をしてください
- 参加区分（【現地参加】または【オンライン参加】）をお選びください
- 【現地参加】の方は、宿泊・昼食・夕食弁当等の有無をご回答ください
- 申込受理後、料金請求します。請求金額をご送金ください
- 【現地参加】の人数を**400人に限定**させていただきます

定員に達した時点で、それ以降の申込者にはキャンセル待ち番号を発行させていただきます
キャンセルができた場合、順次ご連絡させていただきます

- ※ ホームページからの申込が難しい方はご連絡ください
- ※ 宿泊の部屋数に限りがあります。お早目にお申し込みください

◎ 申込期限

【現地参加】 **7月15日(土)まで** 定員に達した時点でキャンセル待ち番号を発行します

【オンライン参加】 **8月10日(木)まで**

※ 現地参加定員に達した場合は、オンライン参加になります。（オンライン参加を希望されない場合はご連絡ください）

◎ 現地参加キャンセルについて

- 7月15日(土)までは、手数料2,000円と振込手数料を差し引いて返金します
- 7月16日(日)以降は、参加費の返金はできません
宿泊費・昼食・夕食弁当代金については、手数料2,000円と振込手数料を差し引いて返金します
- 7月23日(日)以降は、宿泊費・昼食・夕食弁当代金の返金はできません
- 現地参加をキャンセルしてオンライン参加に変更される場合は、キャンセル前にご相談ください

注意事項

- ◇ 直接会場への問い合わせはご遠慮ください
- ◇ 現地参加者の宿泊・昼食・夕食の手配を行います。ご希望の方は、セミナー参加申込と同時に申し込みください
- ◇ 現地参加申込者で参加が難しくなった場合は、速やかにご連絡ください
- ◇ 質問等お問い合わせは、NPO法人日本ミュージック・ケア協会「加佐ノ岬倶楽部音楽療法研究所」までお願いします

参加費

すべて税込み価格です

● 現地参加

日本ミュージック・ケア協会 会員	15,000円
一般	18,000円

● オンライン参加

10,000円

宿泊費 1泊朝食付

ツイン 2名1室利用1名分料金	9,200円
シングル 利用料金	13,000円

昼食弁当 お茶付き 900円

夕食弁当 2,500円

◎ 振込先 郵便局

口座番号：00770-2-75467

口座名義：日本ミュージック・ケア協会
全国セミナー

お申し込み
問い合わせ先

NPO法人
日本ミュージック・ケア協会
加佐ノ岬倶楽部音楽療法研究所

〒922-0554
石川県加賀市橋立町ふ23
TEL / FAX 0761-75-2917
http://www.music-care.net
E-mail info@music-care.net

